

第5回豊川市総合保健センター（仮称）基本計画等策定委員会会議録

日 時	令和3年8月19日 午後1時25分から午後2時15分まで
場 所	豊川市勤労福祉会館大研修ホール
出席委員	柳澤委員（会長）、白垣委員（副会長）、小澤委員、鳥山委員、小原委員、山脇委員、石川委員、豊田委員、鈴木委員、須川委員、桑野委員、増田委員、八木委員、木和田委員、小久保委員（15名） 山本氏（安東委員代理） 山本氏（岩村委員代理） 【オブザーバー】 愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 坂田課長補佐
事務局	子ども健康部保健センター 【委託業者】アイテック株式会社

発言要旨等会議内容は、次のとおりです。

1 会長あいさつ

本日は足元が悪い中、お集まりいただき感謝申し上げます。皆様の協力を得ながら検討を重ね、新保健センターの大きな方向性をまとめた基本構想が完成した。本日から、基本設計を見据えて、時間的なスケジュールや新保健センターの基本的な部分をまとめる基本計画の検討を進めていく。

昨今は、日本各地で多くの災害が発生しており、新型コロナウイルス感染症の陽性者数についても、愛知県でも急増している。このような時期だからこそ、被災者や感染者等の弱者について、検討を重ねるなか、具体的な議論を進めていけたらと思う。ぜひ、皆様の知恵を拝借したい。

2 議題

(1) 今後のスケジュールについて

事務局 配布資料をもとに説明。

会 長 今後のスケジュールについて、なにか意見や質問はあるか。

委 員 基本設計と実施設計の設計業者は、一括発注という認識でよろしいか。

事務局 基本設計と実施設計の業者の選定は、プロポーザル方式の一括で行う予定である。契約方法については、補助金等の関係から、まとめて契約するか個別で契約するか検討中である。

(2) 基本計画の検討について

事務局 配布資料をもとに説明。

会長 ただ今の説明について、なにか意見や質問があればお願いしたい。

委員 本日集まった異なる立場の皆様の存在が重要であり、この場の話し合いをより良いものにするには、内容をきちんと理解し、それぞれの分野で情報を発信していくことが大切だと感じている。豊川市は「日本一子育てしやすいまち」をコンセプトに掲げており、安心して出産できるよう、市民病院をはじめ市内の産婦人科の医師や看護師に情報を伝えていくことが重要だと考えている。市外から雇われたドクターもいるが、豊川市をよりよくしていくために、保健センターが活動していることを発信してほしい。旧町施設での育児相談について、前回の策定委員会時にはオンラインを活用して相談を行うと説明があったが、まるまる1か月オンライン相談のみを行うのではなく、1か月に数回は専門スタッフと対面相談ができると、妊婦は安心できると思う。検討していただきたい。

事務局 基本構想では、地区内での育児相談の実施体制の強化を検討している。そのような対策を取るなか、IT化等の整備を検討していることから、オンライン相談は一つの手段として検討しなければならないが、妊婦が安心して出産できる環境を考慮しながら検討を進めていきたい。

委員 電話ではなく、すぐに直接診てもらえることが妊婦には重要である。気軽に相談できて診てもらえる体制づくりに問題はないか。

事務局 細かい運用については今後検討予定であるが、重要事項であるため、しっかり検討していきたい。

委員 ぜひお願いしたい。

会長 総合保健センターとしての機能を強化しながら、地区でのきめ細かい相談にも対応していく方向でよろしいか。

事務局 問題ない。

会長 新保健センターの諸室についてなにか意見はあるか。形そのものは想像できなくとも、機能・活動の視点から検討いただくと分かりやすいのではないか。

委員 相談室等の諸室の充実は、子育て中の方や妊産婦等にも良いと思う。しかし、実際の運用を考えるとマンパワーがとても必要である。必要人員をどのように増強していくのかに加え、現状の保健センターは細かい相談窓口が実際機能しているのかなど疑問視する点もあることから、専門家によりマンパワーも含めた機能充実を図ってもらいたい。

会長 現在は健診時に保健師、発達相談時に医師と会える機会がある。それ以外での個別相談といった相談体制の機能強化はあるか。

- 事務局 新保健センター整備にあたり、市長のマニフェストに「妊産婦総合相談窓口の設置」を掲げており、専門職員や関係者のマンパワーは考えていく必要があると考えている。具体的な人員配置等についてはまだ決定していないが、しっかりと検討を行っていききたい。
- 会長 令和7年度の完成までにハード面だけでなく、運用等のソフト面の検討も進めていただけたらと思う。
- 委員 建設に関する内容のため、施設的な表現が多いが、これまで保健センターでは訪問事業も行ってきた。計画内では見えにくいですが、育児相談や健康診査等の事業について、拡充していく予定はあるか。
- 事務局 今後必要になる保健事業の拡充については、検討していく必要がある。特に健康診査事業については、地元での実施希望が多いことがアンケート調査からも分かっている。訪問事業の必要性については認識しており、それぞれの地区で、ニーズに合わせて拡充を検討していく必要があると考えている。
- 委員 ソフト面については、今までの意見も含めてなるべく効率的に実施できるよう検討していく。具体的には、体操教室等について、大規模な新保健センターが建設されれば1つの場所で実施するのも効率的といえるが、訪問が必要な事業は今まで通り訪問での対応を検討している。また、訪問やリモートでの実施を考えている事業の中には、直接対面で行わなければ把握が難しいものもある。対面の必要性や事業の特性も踏まえて、関係団体との委託又は連携をさらに強化しながら専門性の高い対応も計画していききたい。
- 委員 先生方から事業の提案等があったが、委員会資料には、建築の内容ばかりで運用の検討について明記されていない。策定委員会の役割として、運用の検討を引き続き行ってもよろしいか。
- 事務局 今回提示している諸室については、実施事業を踏まえながら検討を進めている。設計に向けて必要諸室の整理をしているため、資料上では事業内容や運用面が見えにくいですが、検討は進めているのでご理解いただきたい。
- 会長 細かい運用に関しては、保健センター内で実際に働かれている職員が中心に検討をしていると思われる。本委員会は、基本構想や基本計画等について審議する場となっているが、運用面での希望について、この場で意見を述べていただければ、運用計画に反映してもらえるのではないかと考えている。今回、総合保健センターの建物が刷新するだけでなく、効率的でありながら機能的な新しい運用を考える良い機会だと思う。職員の充実や活動の拡充等について、予算等を踏まえながら検討していく必要がある。運用面の決定は難しいが、ご意見は頂戴したいと考えている。

- 委員 運用面についてはどこかで検討されているという認識でよろしいか。
- 事務局 策定委員会までの前段階と位置付けている作業部会や事務局打合せ等でも様々な意見を聴取しており、今後も考え方等を検討していきたいと考えている。
- 会長 今後機会があれば、運用についての今後の将来像等を小久保所長や事務局の方から説明があると、委員の皆様は安心されるのではないかと思います。
- 委員 休日夜間急病診療所については、バックヤードに職員専用通路を設けることや感染症患者の動線を一般患者と分けることなど、医師会では具体的に話し合いを行い、豊川市へ意見を伝えてきた。質問の趣旨はそのような検討のことでよろしいか。
- 委員 総合保健センターのマンパワーとビジョン、ハードが一定程度結合していなければならない中で、それがどこかで検討されているのか確認がしたかった。
- 委員 三師会では各分野の希望を述べたうえで検討が行われている。
- 会長 他に意見はあるか。
- 委員 児童発達支援センターの通所部分に関して、対象に特化した保育園のような施設イメージを持っている。園児一人当たりに必要な広さや必要諸室などの数値的な制限や要件はあるのか。
- 事務局 児童発達支援センターについては諸室の面積等の施設基準があり、基準に則り設置を行っていく。新保健センター全体で6,100㎡あるなか、児童発達支援センターは1,000㎡を確保する予定である。豊川市の児童発達支援における起点施設になるよう進めていきたい。
- 委員 配布された基本構想のP39に基本的機能の全体像が記されている。「感染症対策機能」や「市民交流機能」などが基本計画とうまくリンクしていない印象がある。基本構想内で基本的機能をうたっているため、各機能をもとに諸室について展開した方が分かりやすくなるのではないかと思います。提案させていただいた。
- 事務局 基本構想では、運用面における保健センターの機能について検討したが、今年度の基本計画は、設計者が設計しやすいように改めて機能の整理を行った。基本構想での基本的機能では実施場所が重複してしまうため、設計図・設計書を書きやすいよう整理させていただいたが、内容については、改めて精査させていただく。

### 3 その他

会 長 全体を通してご意見等はあるか。

※特段の意見なし

会 長 事務局の方から何かあるか。

事務局 本日審議いただいた基本計画の検討に沿いまして、基本計画（案）を作成し、次回の策定委員会時に審議していただく予定である。よろしくお願  
い申し上げます。

以上